

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.38

2019 秋号

ペインクリニック外科

ペインクリニック外科の
診療が始まります

メディカルトレーニングセンター

「メディカルトレーニングセンター」
開所にあたって

放射線部

「ラジエーションハウス」へようこそ

ご自由
にお持ちください
TAKE FREE

ペインクリニック外科の 診療が始まります

「ペインクリニック」と聞いてもほとんどの方は聞いたことがないかと思います。英語ではペインは痛み、クリニックは医療機関という意味です。すなわち、「ペインクリニック」とは痛みを持っている患者さんを診療し、痛みの緩和とそれによる生活の質の改善を目的とした診療科です。

痛みは私たちにとって嫌なものです。だからといって痛みがなければ良いというわけではありません。実は私たちが痛みを感じることは、体を守る生体の防御システムとして重要なものです。しかし、不必要な痛みはないに越したことはありません。そういった必要のない痛みがペインクリニックの治療の対象になります。では、どのような病気が対象かと言いますと、基本的には体中のどこであっても痛みを伴う病気であれば受診することができます。例を挙げると、ぎっくり腰（急性腰痛症）、椎間板ヘルニアや変形性腰椎症などの腰痛、膝の痛み、肩関節周囲炎などの肩の痛み、帯状疱疹による痛み、三叉神経痛、頭痛、筋・筋膜性疼痛、手術後の長く続く痛み、がんの痛みなどです。これらの痛みに対する適切な診断と治療により痛みを軽減させ、生活の質を向上させます。

痛みの治療にあたっては、専門的な知識と技術をもとに、症状や身体所見から痛みの原因を診断し、適切な検査や治療を行います。主に行う治療法は薬物療法や神経ブロック療法などです。

いろいろな医療機関を受診してもなかなか痛みが治まらない、長年痛みで困っているなどの場合は当科を受診されることをお勧めします。



Pain clinic

薬物療法

痛みと言っても炎症による痛み、神経が原因の痛みなど様々な原因が考えられるので、その原因に合わせた適切な薬物を選択し処方します。



神経ブロック療法

痛みの原因となっている神経に局所麻酔薬を注入し痛みを緩和させる治療法です。硬膜外ブロック、星状神経節ブロック、トリガーポイントブロック、三叉神経ブロック、後頭神経ブロックなどの様々なブロックを行います。神経ブロックは、診察、画像診断の情報から痛みの原因とその部位を特定し、最適な神経ブロックを選択します。がんによる痛みでは神経破壊薬を用いることもあります。



ペインクリニック外科の外来診療案内

令和元年（2019年）8月7日（水）より、ペインクリニック外科の外来診療を開始いたします。

診療は、

- 水曜日の午後のみ（祝日、年末年始を除く）となります。
- 受付時間は、13:30～15:30となります。
- 診療時間は、14:00～16:00となります。

初診の方は原則、紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診に係る費用として5,000円（税別）を自費でご負担いただきます。



ペインクリニック外科
科長 河野 達郎



「メディカルトレーニングセンター」 開所にあたって

近年の医学教育の改革により、医学生には従来よりも実習期間中に診療に関する実技を経験することが求められています。そのために臨床実習を行う前に客観的臨床能力試験（OSCE）に合格することが必要とされています。

その準備、練習にはシミュレーターを用いた教育が必要です。

また、本学では年々、新規入職の看護師、コメディカルスタッフ、初期研修医、後期研修医が増加しており、モデル、シミュレーターを用いた技能習得、救急・急変対応、技術トレーニングのためのメディカルトレーニングセンターの設置が急務となっておりました。本メディカルトレーニングセンターが、関係各位のご尽力でここに開所できることを厚く感謝申し上げます。

本施設は、広さ315m²で、70名ほどが収容でき、本格的なシミュレーターが9体、多数のモデルと医療機器を整備しております。

今後、卒前・卒後教育、薬学教育、医療スタッフ研修に活用していただきたいと思います。

メディカルトレーニングセンター
センター長 小澤 浩司



身体診察



超音波診断



採血・静注



縫合手技



救急実習



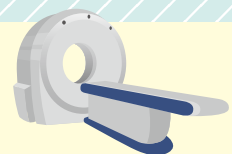
ベビー Q CPR*

*Q CPR (Quality of CardioPulmonary Resuscitation) …質の高い心肺蘇生法

放射線部

ラジエーションハウスへようこそ

Radiation
House



当院放射線部は、大学病院の特徴である高度できめ細やかな画像検査や放射線治療を実行するため診療放射線技師32名（うち女性9名）で構成されています。放射線科医師・看護師と密接な連携のもとに質の高い診療を行っています。

私たち診療放射線技師はレントゲンやCT、MRI検査を担当する人というイメージがあると思いますが、病棟でのポータブル撮影、放射線治療、核医学検査、血管造影、マンモグラフィ、骨密度検査、手術室での透視など様々な業務を担っています。

今年度は新大学病院棟がオープンし、放射線治療の装置、放射線科・脳神経外科・呼吸器外科・消化器内科の診断や治療で用いるカテーテル室、ハイブリッド手術室が新しくできました。たくさんの診療科・スタッフがタッグを組んで皆さんの治療を支えています。

検査内容や撮影室の関係でご案内する順序が前後したり、

待ち時間が長くなってしまったりすることがあります。また、食事制限や苦しい体勢の保持のお願いをすることもあります。皆さんの診断・治療に役立つ画像を撮るために私たちも頑張っていますので、ご協力をお願いします。



放射線部
高橋 憲太郎



INFORMATION



当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！

10月は「臓器移植普及推進月間」です 「いのちへの優しさと思いやり」

臓器移植は、臓器の機能が低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があつて成り立つ医療です。

このような移植医療の適正な実施に資することを目的として、「臓器の移植に関する法律」が平成9（1997）年10月に施行され、一定の実績を積み重ねてきていますが、平成22（2010）年の改正法施行後においても臓器提供事例は、顕著な増加を示していません。

今後、臓器移植の一層の定着・推進を図るためには、より多くの方々に移植医療に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要であることから、「臓器移植普及推進月間」を設け、臓器移植に対する理解と協力のための普及啓発を行っています。



本館4階に「募金自動販売機」を設置しています

当院では、公益財団法人宮城県腎臓協会の取り組みに賛同し、本館4階に「募金自動販売機」を設置しています。「募金自動販売機」の売上の5%が、宮城県腎臓協会献金基金へ募金として支払われます。募金は、腎臓病の予防や臓器移植の普及啓蒙活動に活用されます。



参考：公益財団法人宮城県腎臓協会 <https://www.miyajin.or.jp/vendor/>



本館4階 腎臓内分内分泌科外来 待合室

医学部生による臨床実習が始まります

東北医科薬科大学病院および若林病院では、令和元年（2019年）10月より、本学医学部4年生による臨床実習が始まります。

医学生たちは、東北地方の医療に貢献したいという志を抱き本学に入学し、入学後3年半に渡り「基礎医学」から「臨床医学」を学んできました。そして医療系大学間共用試験という、医学的知識および診察方法や態度を問う全国統一の試験に合格し、臨床実習を行う能力と資格があると認定された上で16ヶ月間におよぶ臨床実習に参加します。

この臨床実習では、単なる技能の習得ということにとどまらず、「患者・家族および他の医療スタッフと対等な人間関係を構築し、患者の考えや患者を取り巻く社会的環境に思いを致し、円滑なコミュニケーションをとれる。」ことを達成目標のひとつとして掲げております。その目標を達成し「良き臨床医」を養成するための第一歩となる臨床実習では、本院ならびに若林病院で治療を受けられている患者さんたちとの関わり合いが最も大切になります。

医学生たちは診療チーム・主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加します。

医学生たちは、患者さんのお言葉からも非常に多くのことを学ぶはずですので、どうぞ積極的に医学生にお声がけください。指導医たちは、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいりますので、この臨床実習へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

統括病院長 近藤 丘
医学部長 福田 寛



市民公開講座のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「市民公開講座」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催場所：東北医科薬科大学福室キャンパス（医学部教育研究棟3階プラタナスホール）
- 参加料：無料

予定演題 11月10日(日)13:00~15:00
(仮)消化器癌と呼吸器癌について

特別講話

開催場所：高砂市民センター
参加料：無料

予定演題 9月25日(水)10:00~11:00
こどものおしっこの話

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



アンケートご協力のお願い

今後の「かがやき」制作の参考にさせていただきたくアンケートを実施しております。お手持ちのケータイ・スマホから右側のQRコードを読み込み、回答フォームに入力をお願いします。

